



東中学校 学校だより

12月号(平成25年月12月3日発行)

TEL042-471-2765 FAX472-7995 URL : <http://members2.jcom.home.ne.jp/higa-j/index.htm>

それぞれの道～卒業生職業講話より～

校長 加藤 一則

師走に入り、朝夕の寒さが厳しくなってきました。長い2学期も、残すところ3週間ほどになりました。この間、保護者・地域・関係機関の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

この2学期も様々な行事があり、行事で成長する生徒の姿を感じました。特に、東中三大行事の文化祭では、今年も感動的な場面が印象に残ります。そして、今年も50周年式典もありましたが、東中生の真面目さを改めて感じました。行事だけでなく、多くの場面でも生徒の頑張る姿がありました。全力で取り組むからこそ自分自身の成長につながるのであり、この姿勢をよい校風として続けることが大切です。

さて、11月29日には、1年生で職業講話の時間がありました。東中同窓会に講師をお願いしましたところ、13・15期の5名の方にお出でいただきました。パネルディスカッション形式で4名の方にお話しいただき、お一人はコーディネーターとしてご協力いただきました。講師の方は、主に次のようなお話しをされました。

- 服飾パタンナー (女性) : 小さい頃から物を作るのが好きだった。アパレル業界は分業化で、デザイナーの要望に応えなければならず、パソコン作業でないと外注は来ない。
- テレビ番組監督 (男性) : 中学時代は映画音楽をよく聴き、そこから映像を想像していた。監督になる力は、撮影現場で必死に身に付けたものである。
- 整体サロン経営 (女性) : 自分を必要とする人は誰かということで、様々な仕事をしてきた。整体に来る疲れた人が、元気になって帰る姿を見るために仕事をしている。
- 自然環境調査 (男性) : 中学時代から野外で遊んだ。人生の節目で様々な植物と出会いこの職業に就いた。苦労はあるが、自分の好きなことを仕事にするのもいいことである。

また、コーディネーターの方 (男性) からは、冒頭「今日の4名は仕事人間である。プロフェッショナルであり、だから結果責任をとる。そこがアマチュアとの違いである。」という話がありました。この言葉は、それぞれの道の第一線で働くことの厳しさを物語っています。そして、テレビ監督の方が、「校歌に、身体と心をきたえておけ、という一節がある。これからの世の中、頭だけでなく、そのことが自分の職業を続ける源になる。」と結んでいました。5名の卒業生の方には、母校の後輩たちに熱く語っていただき、ご協力いただいた同窓会の皆様に厚く御礼申し上げます。

3年生は、先週より面接練習が始まりました。前述の卒業生のように、それぞれの道を歩むためのスタートラインに立つ段階です。進路選択は誰もが通る道であり、悔いのないよう頑張りを期待しています。

★東中学校の教育目標★

- 一、思考と自主 よく考え、自主的に行動できる人になろう。
- 一、責任と努力 責任を果たし努力する人になろう。
- 一、心身の健康 健康で心豊かな人になろう。